

## 国際学会・シンポジウム・招待講演

下歯槽神経や舌神経に損傷を受けた患者さんが全国各地から当科に来院されている現状を顧みて、この疾患に悩む患者さんが増加しない様に舌神経・下歯槽神経障害を予防する為の啓蒙活動を現在も継続している。

1. The prognostic comparison of torn lingual nerve repairs between direct suturing method and collagen nerve graft for the reconstruction of lingual nerve discontinuities.  
69 KONGRESS & PRAXIFURUNGSSEMINAR der Deutschen Gesellschaft für MKG.  
Frankfurt German 2019,
2. Sensory Outcome after Reconstruction of Lingual Nerve Discontinuities Clinical course of lingual nerve injury and factors promoted nerve regeneration in the traumatic neuroma  
The 59th congress of Korean Association of Oral and Maxillofacial Surgeons.  
Seoul Korean 2019.
3. The Prognostic Comparison of Torn Lingual Nerve Repairs Between Direct Suturing Method and A Processed Nerve Allograft Renerate® for The Reconstruction Of Lingual Nerve Discontinuities.  
The 24th Congress of the European Association for Cranio Maxillo Facial Surgery  
Munich German 2018
4. ランチョンセミナー ; 智歯抜歯後に生じた舌神経障害への直接縫合法と人工神経リナーブ®の治療成績比較、  
第 64 回 日本口腔外科学会総会 札幌市 2019 年 10 月
5. シンポジウム ; 医原性の下歯槽神経・舌神経損傷への適切な診断と最善の保存的・外科的治療  
第 73 回 日本口腔科学会 総会 川崎市 2019 年 4 月
6. 招待講演 ; 智歯抜歯の工夫…神経障害対策  
京都府歯科医師会 京都市 2019 年 7 月
7. 招待講演 ; 90 余症例の舌神経および下歯槽神経修復術より得た課題  
第6回 熊本県歯科口腔外科 研修会 熊本市 2017 年 2 月
8. 招待講演 ; 抜歯後に偶発する神経障害について

第 476 回 臨床談話会・大阪大学 歯学部 同窓会 吹田市 2016 年 2 月

9. 招待講演 ; 開業歯科医師が知っておくべき外科処置後に生じた下歯槽神経・舌神経障害への対処法: 長崎市歯科医師会 主催 長崎市 2016 年 12 月
10. 招待講演 ; 抜歯後に生じうる三叉神経・舌神経損傷の対処法  
平成 26 年度 医療管理講習会 三重県歯科医師会 津市 2015 年 3 月
11. 招待講演; 医原性三叉神経障害への対処法・予防策  
九州お茶の水会(東京医科歯科大学同窓の会) 福岡市 2015 年 9 月
12. シンポジウム; 智歯抜歯の工夫…神経障害対策(神経吻合)を含めて、  
第 60 回 日本口腔外科学会 総会、名古屋市 2015 年 10 月
13. 招待講演; 「下顎智歯の抜歯後に舌神経や下歯槽神経障害が生じたら、  
どうします?」診断と予後知見、予防法ならびに対処法について  
福岡市歯科医師会 主催 講演会 福岡市 2014 年 3 月
14. 招待講演; 意外に多い下歯智歯抜歯に生じる舌神経障害の防止策  
第 58 回 日本口腔外科学会 総会 福岡市 2013 年 10 月
15. リフレッシュセミナー・下顎智歯 抜歯後の神経麻痺 を 回避する「技」と「戦略」  
日本口腔外科学会 九州地方会、鹿児島市 2012 年 6 月
16. 招待講演 ; 歯科医療における神経損傷の現状と対策:  
鹿児島市歯科医師会 医療管理委員会 鹿児島市 2011 年 2 月
17. 招待講演 ; 医原性の三叉神経障害に対する対処と治療法  
九州歯科大学 同窓会 福岡地区連合会 福岡市 2010 年 1 月
18. 招待講演; 歯科診療における神経損傷の現状と対策:  
第 45 回 関西歯科麻酔研究会 堺市 2010 年 6 月
19. 招待講演; The iatrogenic lingual nerve injury caused by extraction of lower third molar teeth and  
the neuro-microsurgical repair. Seoul National University, Seoul Korea, 2009

## その他 30余

### 英語論文

1. Comparison of prognosis in two methods for the lingual nerve repair: direct suture with vein graft cuff and collagen allograft method.

Fujita S, Tojyo I, Nakanishi T, Suzuki S.

Maxillofac Plast Reconstr Surg. 2022 Mar 1;44(1):6.

Free PMC article.

2. Effect of duration from lingual nerve injury to undergoing microneurosurgery on improving sensory and taste functions: retrospective study.

Nakanishi T, Yamamoto Y, Tanioka K, Shintani Y, Tojyo I, Fujita S.

Maxillofac Plast Reconstr Surg. 2019 Dec 27;41(1):61.

Free PMC article.

3. A case report of a long-term abandoned torn lingual nerve injury repaired by collagen nerve graft induced by lower third molar extraction.

Fujita S, Mizobata N, Nakanishi T, Tojyo I.

Maxillofac Plast Reconstr Surg. 2019; Dec 23;41(1):60 **Free PMC article.**

4. Outcome following lingual nerve repair with vein graft cuff.

Fujita S, Tojyo I, Yamada M, Go Y, Matsumoto T, Kiga N.

J Oral Maxillofac Surg. 2014; Jul;72(7): 1433.e1-7.

5. Risk of lingual nerve injuries in removal of mandibular third molars: a retrospective case-control study.

Tojyo I, Nakanishi T, Shintani Y, Okamoto K, Hiraishi Y, Fujita S.

Maxillofac Plast Reconstr Surg. 2019 ;Sep 10;41(1):40. **Free PMC article.**

6. Comparison of Subjective and Objective Assessments of Neurosensory Function after Lingual Nerve Repair.

Shintani Y, Nakanishi T, Ueda M, Mizobata N, Tojyo I, Fujita S.  
Med Princ Pract. 2019;28(3):231-235. **Free PMC article.**

7. Effect of duration from lingual nerve injury to undergoing microneurosurgery on improving sensory and taste functions: retrospective study.

Nakanishi T, Yamamoto Y, Tanioka K, Shintani Y, Tojyo I, Fujita S.  
Maxillofac Plast Reconstr Surg. 2019 ;27;41(1):61. **Free PMC article.**

8. Change in allodynia of patients with post-lingual nerve repair iatrogenic lingual nerve disorder. Shintani Y, Ueda M, Tojyo I, Fujita S:  
Oral Maxillofac Surg. 2020;24(1):25-29.

9. Iatrogenic lingual nerve injury induced to the inappropriate procedure on lower third molar extraction: reports of two cases and literature review:

Naoki Mizobata, Takashi Nakanishi, Shinsuke Ieda, Shigeru Suzuki, Yuya Takeda, Masamichi Ueda, Tomoji Fukutani, Itaru Tojyo, Shigeyuki Fujita.  
Oral Science in Japan.2018;69-72.

10. Recovery of Impaired somatosensory evoked fields after improvement of tongue sensory deficits with neurosurgical reconstruction.

Hitoshi Maezawa, Itaru Tojyo, Kazuya Yoshida, Shigeyuki Fujita:  
J Oral Maxillofac Surg. 2016;74(7):1473-82,

日本語論文

1. 下歯槽神経・舌神経の神経障害に対する診査・診断と外科的対応

Author：藤田 茂之(和歌山県立医科大学 口腔顎顔面外科学講座)

Source：日本歯科医師会雑誌(0047-1763)70 巻 1 付録 Page1-5(2017.04)

2. 専門医・他科・専門機関と連携するためのかかりつけ歯科医に必要な知識 意外に多い  
智歯抜歯後に生じる神経麻痺の防止策(後編)

Author：藤田 茂之(和歌山県立医科大学 歯科口腔外科)

Source：The Quintessence(0286-407X)29 巻 3 号 Page666-669(2010.03)

3. 専門医・他科・専門機関と連携するためのかかりつけ歯科医に必要な知識 意外に多い  
智歯抜歯後に生じる神経麻痺の防止策(前編)

Author：藤田 茂之(和歌山県立医科大学 歯科口腔外科)

Source：The Quintessence(0286-407X)29 巻 2 号 Page416-419(2010.02)

4. 下顎第三大臼歯抜歯時に生じた舌神経損傷に対して顕微鏡下神経縫合を行った 3 例

Author：根来 健二(和歌山県立医科大学 歯科口腔外科学講座), 稲山 雅治, 松本 隆司, 藪  
田 達雄, 東條 格, 藤田 茂之

Source：日本口腔外科学会雑誌(0021-5163)54 巻 2 号 Page64-67(2008.02)

#### 学会発表・会議録

1. 重篤な損傷を受けた舌神経・下歯槽神経に対する人工神経リナーブを用いた治療 神経  
再生誘導術施行後 1 年目の評価

Author：藤田 茂之(和歌山県立医科大学 口腔顎顔面外科学講座)

Source：日本口腔科学会雑誌(0029-0297)68 巻 2 号 Page85(2019.07)

2. 医原性の下歯槽神経・舌神経損傷への適切な診断と最善の保存的・外科的治療

Author：藤田 茂之(和歌山県立医科大学 口腔顎顔面外科学講座)

Source：日本口腔科学会雑誌(0029-0297)68 巻 2 号 Page70(2019.07)

3. 舌神経に生じる断端神経腫の髄鞘または軸索成分の組織学的評価

Author：中西 隆(和歌山県立医科大学 口腔顎顔面外科), 岡本 健二郎, 平石 幸裕, 木賀 紀  
文, 東條 格, 藤田 茂之

Source：和歌山医学(0043-0013)67 巻 4 号 Page171-172(2016.12)

4. 下顎智歯抜後に生じた陳白性舌神経障害(受傷後 8 年経過)症例への外科的修復が有効で  
あった 1 例

Author：武田 侑也(和歌山県立医科大学 医学部口腔顎顔面外科), 東條 格, 中西 隆, 溝端  
直樹, 藤田 茂之

Source：日本口腔科学会雑誌(0029-0297)64 巻 2 号 Page215(2015.07)

5. 智歯の口底への迷入により、舌神経麻痺が生じた 1 例

Author：伊藤 将吾(和歌山県立医科大学 医学部歯科口腔外科学講座), 東條 格, 木賀 紀文,  
岡本 健二郎, 青木 礼央, 中西 隆, 藤田 茂之

Source：日本口腔科学会雑誌(0029-0297)64 巻 3 号 Page301(2015.09)

6. 舌神経断裂に対して施行した顕微鏡視下神経縫合術術後の感覚機能評価  
Author：郷 与志彦(和歌山県立医科大学 歯科口腔外科), 東條 格, 木賀 紀文, 根来 健二, 和田 健, 藤田 茂之  
Source：和歌山医学(0043-0013)64 卷 1 号 Page32(2013.03)
7. 下顎智歯抜歯後の舌神経損傷に顕微鏡下神経縫合術を施行した 6 例の臨床的検討  
Author：藤田 茂之(和歌山県立医科大学 口腔顎顔面外), 東條 格, 根来 健二, 木賀 紀文, 和田 健  
Source：口腔顎顔面外傷(1347-9903)10 卷 1 号 Page30(2011.06)
8. 下顎智歯抜歯後に生じた舌神経障害に対する顕微鏡視下舌神経修復術 われわれの改良術式について  
Author：藤田 茂之(和歌山県立医科大学 医・口腔顎顔面外科), 東條 格, 根来 健二, 松本 隆司, 郷 与志彦  
Source：口腔顎顔面外傷(1347-9903)9 卷 1 号 Page33(2010.06)
9. 下顎智歯の抜歯後に舌神経障害を生じた症例に顕微鏡視下神経縫合術および静脈移植術を施行し舌神経機能を改善させた 3 症例  
Author：佐多 孝文(和歌山県立医科大学 歯科口腔外科), 篠原 裕志, 東條 格, 木賀 紀文, 根来 健二, 郷 与志彦, 松本 隆司, 藤田 茂之  
Source：和歌山医学(0043-0013)61 卷 4 号 Page127(2010.12)
10. 下顎智歯の抜歯後に舌神経障害を生じたうえに X 線にて同部位に歯牙様像の残遺を呈した症例に対して顕微鏡下で舌神経縫合術を施行した 3 例  
Author：藤田 茂之(和歌山県立医科大学 医・口腔顎顔面外), 根来 健二, 郷 与志彦  
Source：口腔顎顔面外傷(1347-9903)8 卷 1 号 Page18(2009.06)
11. 下顎智歯の抜歯時に舌神経障害を生じたうえに歯の残遺片を認めた症例に顕微鏡視下舌神経修復術を施行した 3 例  
Author：岩上 隆紀(和歌山県立医科大学 口腔顎顔面外科学講座), 家田 晋輔, 東條 格, 木賀 紀文, 谷本 幸司, 藤田 茂之  
Source：日本口腔科学会雑誌(0029-0297)59 卷 2 号 Page95(2010.03)
12. 下顎智歯抜歯後に生じた医原性舌神経障害に対する適切な対応とは(Microneurosurgery を適応すべき選択基準を中心に)

Author：松本 隆司(和歌山県立医科大学 口腔顎顔面外科学講座), 東條 格, 木賀 紀文, 根来 健二, 藤田 茂之

Source：三重医学(0385-0978)52 卷 1-4 号 Page11(2009.03)

13. 脳磁波検査が有効であった顕微鏡下神経縫合術にて修復した智歯抜歯後の舌神経損傷の 1 例

Author：山田 大介(和歌山県立医科大学 口腔顎顔面外科学講座), 東條 格, 根来 健二, 岡本 健二郎, 和中 由美, 山田 真沙偉, 和田 健, 藤田 茂之

Source：和歌山医学(0043-0013)59 卷 4 号 Page188(2008.12)

14. 下顎第三大臼歯抜歯後に生じた舌神経損傷を顕微鏡下神経縫合術にて修復した 5 例

Author：藤田 茂之(和歌山県立医科大学 口腔顎顔面外科学講座), 東條 格, 根来 健二, 木賀 紀文, 谷本 幸司, 和田 健

Source：日本口腔科学会雑誌(0029-0297)57 卷 4 号 Page522(2008.09)

15. 智歯抜歯後に生じた医原性舌神経損傷に対する神経縫合術の 3 例

Author：藪田 達雄(和歌山県立医科大学 歯科口腔外科学講座), 稲山 雅治, 東條 格, 藤田 茂之

Source：和歌山医学(0043-0013)58 卷 2 号 Page107(2007.06)

16. 下顎智歯抜歯後に生じた舌神経損傷を神経縫合術にて修復した 4 例

Author：藤田 茂之(和歌山県立医科大学 医学部歯科口腔外科学講座), 東條 格, 稲山 雅治, 藪田 達雄, 和田 健

Source：日本口腔外科学会雑誌(0021-5163)52 卷 Suppl. Page105(2006.09)

17. 下顎智歯抜歯時に生じた舌神経損傷に対して神経縫合を試みた 1 例

Author：折居 恒典(京都大学 大学院 口腔機能病態), 藤田 茂之, 安田 真也, 西田 光男, 飯塚 忠彦

Source：日本口腔外科学会雑誌(0021-5163)46 卷 2 号 Page150(2000.02)